

図書館で よく読まれた本 2010



[2010.1.~12.集計]

中央図書館

順位	タイトル / 著者・出版事項
1	●アヒルと鴨のコインロッカー / 伊坂幸太郎著—東京創元社,2006—(創元推理文庫)
2	●超・殺人事件: 推理作家の苦悩 / 東野圭吾著—新潮社,2004—(新潮文庫)
3	●債権総論・担保物権 / 内田貴著—東京大学出版会,2005. ●世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド / 村上春樹著—新潮社,1988—(新潮文庫) ●オーデュボンの祈り / 伊坂幸太郎著—新潮社,2003—(新潮文庫)
4	●別冊図書館戦争 / 有川浩著—アスキー・メディアワークス ●きつねのはなし / 森見登美彦著—新潮社,2009—(新潮文庫) ●人間失格 / 太宰治著—新潮社,2006—(新潮文庫) ●老人と海 / ヘミングウェイ [著]: 福田恒存訳—新潮社,2003—(新潮文庫) ●会社法 / 神田秀樹著—弘文堂,2009—(法律学講座双書) ●重力ピエロ / 伊坂幸太郎著—新潮社—2006—(新潮文庫) ●海辺のカフカ / 村上春樹著—新潮社,2005—(新潮文庫) ●四畳半神話大系 / 森見登美彦著—角川書店,2008—(角川文庫) ●坊っちゃん / 夏目漱石著—新潮社,2003—(新潮文庫) ●まんが現代史: アメリカが戦争をやめない理由 / 山井教雄著—講談社,2009—(講談社現代新書)

和泉図書館

順位	タイトル / 著者・出版事項
1	●Seven: a novel / by Anthony Bruno -- Pearson Education,1999—(Penguin readers: level 4)
2	●The lost world / Michael Crichton; retold by Janet McAlpin. —Pearson Education,1999—(Penguin readers: level 4) ●AURA: 魔竜院光牙最後の闘い / 田中ロミオ [著]—小学館,2008—(ガガガ文庫)
3	●As time goes by / Michael Walsh; retold by John Mahood.—Pearson Education, 2001—(Penguin readers: level 4) ●重力ピエロ / 伊坂幸太郎著—新潮社,2006—(新潮文庫) ●Forrest Gump / Winston Groom; retold by John Escott.—Pearson Education,1999—(Penguin readers: level 3)
4	●Oliver Twist / Charles Dickens; retold by Deborah Tempest.—Pearson Education,2000—(Penguin readers: level 4) ●The Godfather / Mario Puzo; retold by Chris Rice.—Pearson Education,1999—(Penguin readers: level 4) ●Jaws / Peter Benchley; retold by Keiran [i.e. Kieran] McGovern.—Pearson Education,1999—(Penguin readers: level 2) ●Women in business / David Evans.—Pearson Education,2001—(Penguin readers: level 4) ●時をかける少女 / 筒井康隆 [著]—改訂—角川書店,2006—(角川文庫) ●Rain man: a novel / by Leonore Fleischer—Pearson Education, 1999—(Penguin readers: level 3) ●予知夢 / 東野圭吾著—文藝春秋,2003—(文藝文庫) ●Happy Christmas! / John Escott. —Pearson Education,2000—(Penguin readers: level 3) ●The phantom of the Opera / Gaston Leroux—Pearson Education,2002—(Penguin readers: level 5)

生田図書館

順位	タイトル / 著者・出版事項
1	●夕焼け雲 / 稲葉稔 [著]—講談社,2009—(講談社文庫) ●時生 / 東野圭吾 [著]—講談社,2005—(講談社文庫)
2	●仮面山荘殺人事件 / 東野圭吾 [著]—講談社,1995—(講談社文庫)
3	●図解微生物学入門 / 堀越弘毅編; 井上明, 中島春葉共著—オーム社,2009 ●嘘をもうひとつだけ / 東野圭吾 [著]—講談社,2003—(講談社文庫) ●魔球 / 東野圭吾 [著]—講談社,1991—(講談社文庫) ●どちらかが彼女を殺した / 東野圭吾 [著]—講談社,1999—(講談社文庫) ●有機人名反応そのしくみとポイント / 東郷秀雄著—講談社,2005 ●絵とき旋盤加工基礎のきそ / 沢武一著—日刊工業新聞社,2006—(Mechanical engineering series) ●ブルース有機化学概説 / Paula Y. Bruice著—化学同人,2006
4	●同級生 / 東野圭吾 [著]—講談社,1996—(講談社文庫) ●有機化学 / John McMurry著; 伊東敏 [ほか] 訳—東京化学同人,2005 ●ラッシュライフ / 伊坂幸太郎著—新潮社,2005—(新潮文庫) ●宿命 / 東野圭吾著—講談社,1993—(講談社文庫) ●変身 / 東野圭吾 [著]—講談社,1994—(講談社文庫) ●シュライバー・アトキンス無機化学 / P. Atkins [ほか] 著; 田中勝久, 平尾一之, 北川進訳—東京化学同人,2008 ●放課後 / 東野圭吾 [著]—講談社,1988—(講談社文庫) ●私が彼を殺した / 東野圭吾 [著]—講談社,2002—(講談社文庫)

「第1回明治大学図書館書評コンテスト」最優秀賞受賞作品

『風流江戸雀』 (杉浦日向子 新潮社)

文学部文学科1年 川島 かつ江

本書は古川柳の中でもなじみ深い佳句を取り上げ、その情景を著者の江戸情緒たっぷりの漫画で描き出した四十三話の作品集です。そこに取り上げられているのは、雪見、雛祭り、花見など一年を通して綴られる庶民の暮らしであり、職人、長屋の女房、若旦那、町娘、お妾さん、居候、丁稚などの愛らしいキャラクターたちが見せる人々の心の機微です。どれもどこか懐かしく、ちょっと切ない気持ちにさせられるお話です。

元となった古川柳の多くは『俳風柳多留』に収められたもので、江戸中期句会で詠まれた句を柄井川柳や呉陵軒可有らが選句、編集したのが始まりです。その後川柳は町人文化を背景に大流行しました。粋を気取った旦那衆が日常の閃きを五七五に託したに違いありません。でも残念なことに、図書館に鎮座する『俳風柳多留』を手にする人は少ないでしょう。古典というカビ臭さと現代人との感性の隔たりが私たちの興味を遠ざけているのかも知れません。本書はそんな私たちに親しみ易く古川柳を紹介してくれています。

私たちは江戸時代なんてテレビの時代劇で目にかかるだけの遠い昔と思いがちです。着物に丁髷に身分制度、殿様にお侍に花魁、どれも現代とはかけ離れた存在です。しかし、たかが二百年前の事、ひいおばあちゃんが生まれた頃の話です。著者の漫画はそんな時代劇っぽい仰々しさに煩

わされず、素直に江戸人の気持ちを伝えていきます。漫画の中では、登場人物の着物や髪型、風景や町並み、家の造りや調度品に至るまで、どれも忠実に描写されており、庶民の暮らしぶりや時代の雰囲気を読み取る事が出来ます。しかも、そこに登場する人物の行動や心模様は、恋心や嫉妬や慈愛など私たちの心にストンと収まる正直さを持って描かれています。今を生きる私たちと過去に生きた彼らとの感性の共通性、平凡な営みの中に繰り返されてきた日本人の普遍性のようなものを感じさせてくれるのです。

本書は素直に漫画として読んでも十分に楽しめる作品です。ですが古川柳の魅力、古典の楽しみ方を教えてくれる本でもあります。古典と言うと敷居が高いようですが、ご先祖達の言葉を綴った物と考えればもっと身近になります。作中のキャラクター達は私のご先祖であり、同じ江戸の土地でこんな暮らしをしていたのだらうという地続き感を持って親しむことも出来ます。そして二百年を飛び越えて、彼らの笑いや人情や恋心に懐かしくちょっと切ない気持ちにさせられてしまうのです。

*明治大学図書館書評コンテスト
学生が読書に一層興味を持ち、積極的に図書館を活用することを目的として2010年度より開催されたもの。



第1回明治大学図書館書評コンテスト
最優秀賞受賞作品